

失われた森林を再生しよう

「うまい！を明日へ！クマガラの森再生プロジェクト」

「うまい！を明日へ！クマガラの森再生プロジェクト」が10月2日、森吉山麓高原の森吉山野生鳥獣センター近くで行われ、全県から約240人が参加し、植林体験や森林ガイドによる散策などで森林再生に理解を深めました。

同プロジェクトは、アサヒビール株式会社 泉谷直木代表取締役社長より寄付をいただき、県市、商工会がプロジェクトチームを組織し、森吉山麓に關係する諸団体が環境整備活動を実施するものです。



ブナの苗を植樹し、森林再生に繋がったクマガラの森再生プロジェクト

な森ですが、以前牧場が開墾され森の繋がりが途切れてしまった。牧場として使わなくなった部分を森に再生することで、森の繋がりを復元し、多様な動植物が棲むことのできる森に再生したい。今日は、植林などを通して自然を楽しんで満喫してほしいなどとおっしゃる。

セレモニー植樹では、小笠原明士さん、米内沢小、藤島祐人さん、前田小、作山友希さん、阿仁合小、菊地亮太さん、大阿仁小が林業普及指導員から植林の仕方を教えてもらいながらブナの苗木を植樹しました。

植樹体験では、参加者が4つのブロックに分かれて、約20センチ丈のブナの苗を、約2メートル間隔でスコップで苗が入る穴を掘り、養土などを入れて、奥森吉の豊かな森の再生に繋がるようになると願いを込めながら植樹しました。

その後、参加者へなめこ汁がふるまわれ、午後からは森林ガイド付きオブシヨナルツアーとして、ノロ川源流桃滝コース、ブナの森、森吉山の魅力を学ぶコース、ミニトレッキングと森のワークコースに分かれて、奥森吉の魅力を体感しました。

内陸線を利用してサッカー交流

第4回あきた南北ジュニア強化サッカー交流大会

第4回あきた南北ジュニア強化サッカー交流大会もみじカップが10月11日、鷹巣高校グラウンドで行われ、仙北市、大仙市などのサッカーチームが内陸線を利用して北秋田市を訪れ、東北のチームとサッカー交流を楽しみました。

同大会は、秋田内陸線の利活用に寄与し、サッカーを通して青少年たちの健全な心身の育成と発達を図ることを目的に県サッカー協会の主催で行われています。5月には、さくらカップとして仙北市で行われ、東北のサッカーチームが内陸線を利用してサッカー交流を図っています。



10チームが参加した「第4回あきた南北ジュニア強化サッカー交流大会」

大会には、仙北市、大仙市など県内から5チーム、大館市や鹿角市、能代市など東北から5チームの10チームが参加。8人制で前後半10分ずつを2つのフィールドに分かれ、午前中は予選リーグ、午後から順位決定リーグが行われました。

津谷市長は、県南の選手の方々に朝早くから内陸線を利用して北秋田にお越しいただき心から歓迎します。内陸線沿線には、森吉山やマタギ文化、伊勢堂遺跡、大太鼓の館などたくさん文化があります。家族で楽しんでいってください。この機会に更に交流を深めて、サッカーの技術の向上に役立ててもらいたい」と選手らを歓迎しました。

選手宣誓では、大館サッカースポーツ少年団のキャプテン細川康介さんが、日頃の練習の成果を十二分に発揮し、最後のホイッスルが鳴るまで、正々堂々戦いぬくことを誓います」と力強く誓いました。

最初は、前日の雨でグラウンドコンディションが悪い所もありましたが、天気も回復し、選手たちは、家族らの大きな声援を受けて、フィールドを駆け巡りゴールを目指しました。

世界遺産登録に向けて

世界遺産フォーラム「ストーンサークルのやくわり」

世界遺産フォーラム「ストーンサークルのやくわり」が9月19日、市文化会館で開催され、市内外から約100人が世界遺産登録に向けて縄文遺跡について学びました。

フォーラムは、世界遺産暫定リストに登録された、北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の本登録に向けて推進活動の一環として開催されました。

開会にあたり、古内一樹・県教育庁文化財保護室長は、縄文遺跡群は秋田県、北海道、青森県、岩手県の4道県が共同で提案しているもので、秋田県では大湯の環状列石と伊勢堂岱



「ストーンサークルのやくわり」について学んだ世界遺産フォーラム

遺跡の2つです。平成27年に世界文化遺産の登録を目指し、息の長い推進活動が求められます。このストーンサークルを日本の縄文文化の代表する遺跡として、世界に向けて情報発信していきたいなどとおっしゃる。

講演では、はじめに小林達雄・國學院大學名誉教授が、縄文人がストーンサークルに求めたもの」と題して、縄文人の生活などを紹介しながら、縄文人は地形や特色で場所を選び、住み続けることにより愛着を持ち、そこに記念物をつけた。記念物は単なる遺跡でなく、現在の生活環境、生活景観にも組み込まれている」と説明しました。

続いて、中村大・総合地球環境学研究所研究員が、ストーンサークルをなぜそこに造ったのか」と題して、遺跡の分布の研究事例を紹介しながら「米代川流域のストーンサークルは遺跡の密集地に多い。他地域では密集地以外のものもあり、場所選別に特性があり、縄文人の考え方がわかってくるのでは」と説明しました。

また、事例発表やパネルディスカッションも行われ、縄文遺跡について理解を深めました。

市長ダイアリー

9月16日～10月15日

- 9月16日(木) 平成22年9月定例会本会議一般質問(議事堂)
- 17日(金) 平成22年9月定例会本会議一般質問(議事堂)
- 19日(日) 世界遺産登録推進フォーラム(文化会館) 鷹巣地区敬老式(中央公民館)
- 21日(火) 「秋の全国交通安全運動」鷹巣地区合同出発式(本庁舎)
- 25日(土) 100キロチャレンジマラソン第20回大会前夜祭(仙北市)
- 26日(日) 100キロチャレンジマラソン第20回大会表彰式、後夜祭(交流センター)
- 27日(月) 平成22年9月定例会本会議最終日(議事堂)
- 29日(水) 第155回秋田県市長会定例会(能代市)
- 30日(木) 平成22年度消費者問題研修会(森吉コミュニティセンター)
- 10月1日(金) 北秋田市上小阿仁村病院組合正副管理者会議(公立米内沢病院)
- 2日(土) 「うまい！を明日へ！クマガラの森再生プロジェクト」植樹イベント(森吉山麓高原)
- 8日(金) 米内沢財産区管理委員選任書交付式(本庁舎)
- 9日(土) 鷹巣農林高校閉校式(同校) 伊勢堂の森を語る会(中央公民館)
- 10日(日) 鷹巣高校 思い出を語る会(祝賀会 ホテル松鶴)
- 11日(月) 第4回あきた南北ジュニア強化サッカー交流大会(鷹巣高校グラウンド)
- 13日(水) 北秋田市上小阿仁村病院組合正副管理者会議(公立米内沢病院)
- 14日(木) 第25回記念全国臨書模刻展(受賞報告(本庁舎))

14日(木) 第157回東北市長会総会(福島市)



100キロマラソン後夜祭でランナーたちを語る市長(9/26)